

芝浦工業大学、2024年4月学部入学者の

女子比率が過去最高の26.6%に

～理工系分野のジェンダーギャップ解消に向けた取り組み～

* * *

芝浦工業大学(東京都江東区/学長 山田純)では、2024年度4月の学部女子入学者の比率が26.6%(全入学者1866人中女子入学者496人)となりました。これは、2023年度入学者の21.2%を5ポイント以上上回り、入学者における本学過去最高の女子学生比率となりました(2024年5月1日現在)。

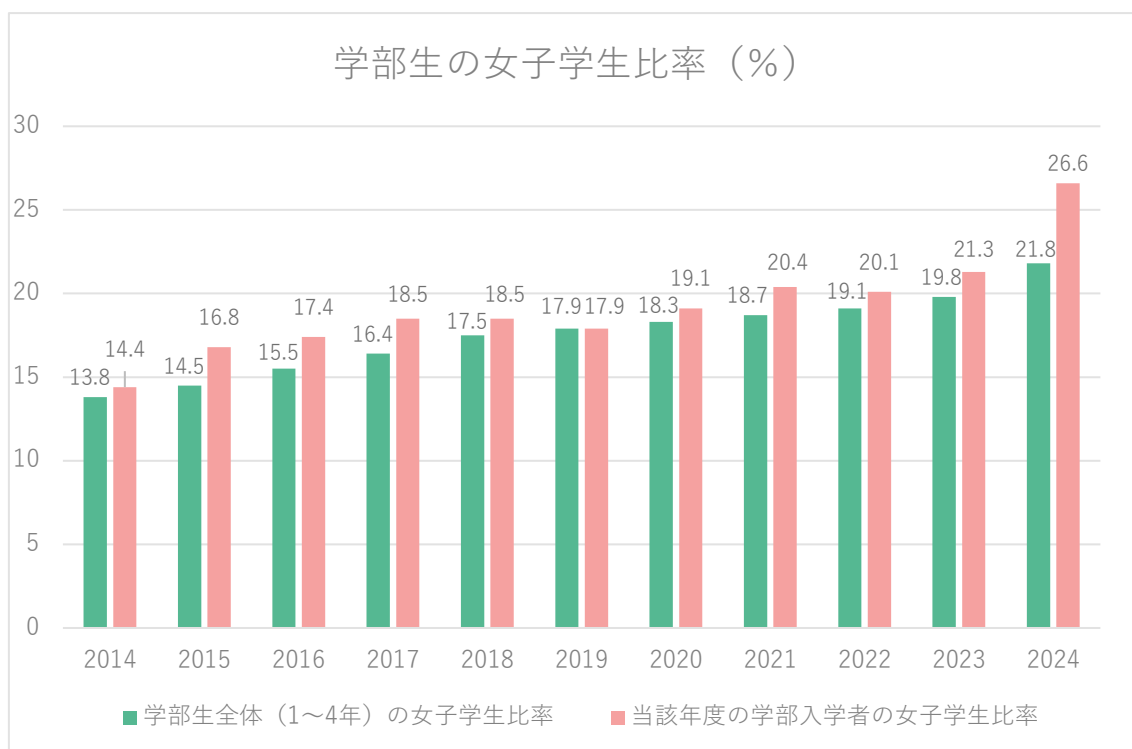
学部生全体を通して、2023年度19.8%から21.8%(全学部生7794人中女子学生1702人)となるなど、大学全体としても初めて20%を超え、女子学生比率が増加しています。

工学分野に進む女子学生の比率は全国平均で15.2%(令和3年度 文部科学省「学校基本調査」より)となっており、この分野においてはいまだ大きなジェンダーギャップが存在しています。その中で芝浦工業大学は、教育も研究もイノベーション創出のためにはダイバーシティが重要であるとの考えのもと、理工系を学ぶ女子学生を増やし、社会に有意な人材を多く輩出するため、下記の取り組みを行ってきました。

■ 芝浦工業大学の女子学生比率向上への取り組み

- ・2018年度から公募制推薦入学者選抜(女子)を実施、現在は理工系女子特別入学者選抜として、2024年度は本入学者選抜で75名の入学者を迎えた
- ・2022年度から入学試験の成績が優秀であった女子入学者100名以上を支給対象とした奨学金(入学金相当)を設置
- ・2022年度から女子高校との連携により1週間の研究室体験インターンシップを開催
- ・2022年度から女子高校生とその保護者を対象に「女子向けミニオープンキャンパス」を開催し、工業大学の“今”を体感してもらうイベントを実施

芝浦工業大学では、「ダイバーシティ推進先進校」を目指し、創立 100 周年を迎える 2027 年までに女子学生比率 30%以上となることを目標に、多くの理工系を学ぶ女子学生を育成、輩出して社会のイノベーション創出の一助となるよう取り組みを続けていきます。



■ 関連リンク

▼女子学生比率 30%に向けた、芝浦工業大学の入試改革

https://www.shibaura-it.ac.jp/headline/detail/20240225_7070_903.html

芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科

<https://www.shibaura-it.ac.jp/>

理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に2つのキャンパス、4学部1研究科を有し、約9,500人の学生と約300人の専任教員が所属。2024年には工学部が学科制から課程制に移行し、従来の教育の在り方を根本から変えていきます。創立100周年を迎える2027年にはアジア工科系大学トップ10を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

取材に関する問い合わせ先

学校法人 芝浦工業大学 入試・広報連携推進部企画広報課 土屋

TEL 03-5859-7070 FAX 03-5859-7071 E-mail koho@ow.shibaura-it.ac.jp